

平成29年度

輝け! 金光吉備小

No.45

一元気な子・やさしい子・考える子ー H29.12.5 文責 横山



11月30日(木)5, 6時間目に「ウナギ博士出前講座」がありました。[]さん(国語の教科書にウナギの説明文を掲載されています), []さん, []さんが来てくださいました。何十年間も研究し続けてきて分かったウナギの生体や産卵場所, 研究の実際の様子等を分かりやすく教えてくださいました。研究者の生の声は子どもたちにとっても魅力的なものでした。途中クイズもはさみながらあっという間の90分

でした。左上の写真は, ウナギの赤ちゃん(レプトセファルス)です。筋のように見えるのは赤ちゃんの赤ちゃん(プレレプトセファルス)でれっきとしたウナギです。私も初めて見ました。講演を通して「し続けること」の素晴らしさも教えていただいたような気がします。3人の先生方は「反応が良くて, 賢いお子さんたちですね。話がしやすかったです。」とほめてくださいました。金光吉備小学校に来てくださってありがとうございました。



11月29日(水)に給食センターの

[]先生が3年い組に給食指導に来てくださいました。野菜には「*目がよく見えるように

なる。＊病気から体を守る。＊栄養を体に入る安くする。」という働きがあることを教えてくださいました。野菜嫌いな子もそれを聞いて、なんとか出されたものは残さず食べようと思ったようです。[]は毎週水曜日に来てくださって、各クラスを回って指導してくださっています。[]，ありがとうございます。

校長先生クイズ No.7

正解は「ユズリハ」です。

河合酔茗さんの「ゆずり葉」という詩はかつては6年の国語の教科書に載っていました。正解者は2年 []



[] さんです。おめでとうございます。

ゆずり葉

河合酔茗

子供たちよ。

これはゆずり葉の木です。

このゆずり葉は

新しい葉が出来るよ

入り代わってふるい葉が落ちてしまうのです。

こんなに厚い葉

こんなに大きい葉でも

新しい葉が出来ると無造作に落ちる

新しい葉にいのちをゆずって――。

子供たちよ

お前たちは何をほしがらないでも

すべてのものがお前たちにゆずられるのです。

太陽のめぐるかぎり

ゆずられるものは絶えません。

かがやける大都会も

そっくりお前たちがゆずり受けるのです。

読みきれないほどの書物も

みんなお前たちの手に受け取るのです。

幸福なる子供たちよ

お前たちの手はまだ小さいけれど――。

ゆずり葉は運動場の砂場やブランコがある辺りにあります。見てみてください。詩も素敵でしょう。



フィギュアスケーターの高橋大輔さんが呼びかけているポスターです。悩みを聞いてもらうことで

世のお父さん、お母さんたちは何一つ持ってゆかない。

みんなお前たちにゆずってゆくために

いのちあるもの、よいもの、美しいものを、

一生懸命に造っています。

今、お前たちは気が付かないけれど

ひとりでのいのちは延びる。

鳥のようにうたい、花のように笑っている間に

気が付いてきます。

そしたら子供たちよ、

もう一度ゆずり葉の木の下に立って

ゆずり葉を見る時が来るでしょう。

心が軽くなることがありますよね。人と人とのつながりや絆は大切にしたいです。

美味しいあんこができました!